

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

1 班（高校生年代 5 名）	2
2 班（高校生年代 4 名）	6
3 班（大学・大学院生年代 5 名）	11
4 班（社会人年代 4 名）	17
いけんひろば後のアンケートに書かれた意見	21

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

1 班（高校生年代5名）

1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

〇思い浮かべた化学物質に関して、良い印象・悪い印象などを教えてください。また、なぜそのように思ったのか、理由を教えてください。

- 化学物質に対してあまり良い印象はない。私は肌が弱い体質で、化学製品が含まれている服を着るときは絶対にインナーに綿製品を着ないと肌が荒れてしまう。食品添加物も、視点を変えれば良いと思うが、苦手である。食品添加物を食べると気持ちが悪くなることがある。テーマパークに行った時に買ったキャラクターのジュースの裏面には、食品添加物がたくさん表示されていた。「買っちゃったから飲もう」と仕方なく飲んだら気持ち悪くなった。出かけたときに食べると気持ち悪くなって吐いてしまうことがある。「食品添加物の入っていない食品を食べればいいじゃん」と思うけれど、入っていない食品は貴重で値段が高く、食品には食品添加物が入っているのが当たり前になっている。もうちょっと自然にやさしいほうが良い。
- 自己紹介の時に住んでいる地域の水道局の話を少ししたが、PFAS がテレビで注目されており、多量に含まれているとがんのリスクがある。服にも化学物質が含まれているが、実際には化学物質がないと生活が成り立たない。化学物質の利用が禁止されたら服が買えなくなる。オーガニックコットンの服は本当に値段が高い。化学物質を使えなくなると、手ごろな値段の服もなくなってしまうと思う。
- 化学物質を使えなくなると、手ごろな値段の多くの服はなくなるかもしれないけれど、一部のブランドの服にはまだ綿を織り込んだ製品がある。
- 自分はアトピーがあるので、ずっと化学物質を毛嫌いしてきた。けれど化学を専攻する科に在籍しており、高校の実験の授業でナイロンを作ったことがある。ある液体を混ぜると化学反応が起きて、反応が終わるまでずっとナイロンの糸が出続ける。綿は何十年もかけてようやく採れるけれど、化学物質はすぐ合成されるし、化学反応が起きた時点では自然を破壊しないので、化学物質はすごい。だから最近は化学物質は良いと思う。けれど私の肌には合わない。ナイロン自体は環境を破壊しないが、捨て方には気を付ける必要があるので大変である。ナイロンを作ることは楽しい。ナイロンがどうして環境に悪いかわからない。
- ナイロンは石油から作るのだから、石油を使い終わるとナイロンが作れない。石油を採るのにも人件費がすごくかかる。
- ペットボトルもリサイクルできるから「エコじゃん」と思う。けれど、ペットボトルを洗ってリサイクルするのを見ると、ものすごい量の水と洗剤が使われる。汚れたものを捨てるのと処分するのにまた化学物質が使われる。紙も碎いてリサイクルできるというが、リサイクルの過程もちゃんと見てみると意外とエコじゃないと思う。一回使うことで、処理に多くの時間を要するから、あまり使わないほうがいいと思う。
- 電気自動車も、動力である電気を作るときに二酸化炭素を排出する。ペットボトルも作るときに石油を使う。ペットボトルリサイクルで作られた紙も、たくさんの石油を使っている。
- 化学物質と聞いたらそんなに良いイメージはない。いわゆる環境被害が取りざたされているイメージがついている。けれど、自分の生活で絶対に使っているのだから、冷静に考えると絶対悪ではない。具体的には、食

2024/12/14 開催 いけんひろば

あなたにとって化学物質はどんなもの？

～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

べ物にも使っているし、衣食住全部に関わっている。排出してしまったら悪い影響があるので減らしていくべきだと思うけれど、全体としては今後増えていくと思う。食品に関しても、化学肥料を使って育てている。環境に影響がない範囲なら使ってもよいと思う。

○少し難しいかもしれませんが、思い浮かべた化学物質がどのような良い影響・悪い影響を環境中にもたらすと思いますか。思ったことを教えてください。

- 化学物質は良くないイメージがあるかもしれないが、結局は農作業でも機械を使うときに燃料を使うし、農薬を使うので薬品は必要である。品種改良で色々な手を加えることもある。畜産業でも化学物質は排出される。エコじゃないといえばエコじゃないが、うまく表現しにくい。化学物質があることで食料品を作る工程が効率化されるので良い印象があるが、環境負荷を考えると良い印象と悪い印象が半々である。
- ウシのゲップがメタンガスの2割を占めているというが、ゲップを抑制するエサを開発したというニュースを見た。ただ、抑制する必要があるかと疑問に思う。
- 調べたら、自分が高校の実験の授業でナイロンを合成した原料の液体は石油からできている。使っていく素材を考えることは、環境のためにも自分のためにも必要だと思う。
- バイオマスプラスチックはバイオマスというが、サトウキビを作るときに農薬を使っているから、エコに見せかけてエコじゃない「エコエコ詐欺」だと思う。
- バイオマスプラスチックを作る過程では環境に良くないかもしれないけれど、普通のプラスチックだとマイクロプラスチックになるだけだから、普通のプラスチックよりはましなのではないか。
- 「エコな生活がどのようなものか」は、エコをどのように考えるかによると思う。今は長く使うものが少ないと思うので、使い続けたり、使わなくなったらフリーマーケットで売ったりすれば良い。粗大ごみの日に「まだ使えるのに捨てちゃうんだ」と思うことがある。長く使い続ける工夫をしていないからエコじゃないのかなと思う。「エコエコ詐欺」になるのは仕方がなくて、消費者がものをどう使うかを考えたほうが良いのではないか。プラスチックの袋がなくなったらどうするかという話があるが、いちど買ったプラスチックの袋を長く使えば良いし、紙袋も捨てないでごみ袋として活用すれば良い。いらないなら別の方法に活用しようという視点の転換が必要。
- ある衣料品店では長期割引があり、リサイクルに出すと、衣料品の製造年に合わせてポイントがもらえる。ポイントという付加価値がつくので、儲かる。

○化学物質に対する「イメージ」や「知識」はどこで知りましたか。

- 家族で作っている LINE グループで興味のある新聞やニュースの URL を共有している。母親が買い物をしたときに常に商品の裏の成分表示を見るので、自分も化学物質に対して常に興味・関心がある。
- 高分子を研究している教授の話聞いて「イメージがわからないから自分で作ってみるか」と思って作ってみて、「おー」と感動した。
- 化学物質に対する悪い印象は学校の歴史の授業で習った化学物質の悪影響に起因している。他にはネットの情報を見る。
- ネットの情報も見るが、地元で農作業をやるときに会う地域の人と話や、これまでに会ったことのある人から色々聞いたことがある。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

- テレビ番組で知った。

2. 現在、環境省が行っている取組について

○環境省が実施している化学物質をわかりやすく伝えるための活動（化学物質アドバイザー制度、かんたん化学物質ガイドなどの発行、化学物質と環境に関する政策対話）について、良い点、こうした方がよいと思う点、などを教えてください。

- かんたん化学物質ガイドはどこで配っているか。依頼があれば環境省から発送することだが、学校からの依頼は多いのか。
- かんたん化学物質ガイドはわかりやすく良いと思った。けれど、ダウンロードをして読むところまではこどもだけではたどりつかない。学校の先生など大人が手伝ってもらえれば見るかもしれない。今はタブレット端末があるので、冊子でなくても良い。
- 「身近な化学物質」という言葉を使うと、普通の洗剤でも界面活性剤が入っているから実験ができるとわかる。個人的にはかんたん化学物質ガイドは良いと思う。
- PVA のりという洗濯のりの原液のようなものがあるが、なかなか売っていない。
- 化学構造式を書いている点はこどもにとって難しいけれど、広い年代をカバーしている内容だと思う。データさえ変えれば内容は本当に良いと思う。クイズも載っているので見やすい。図柄が結構載っているので、下手な資料よりはずっと良い。
- 高校生に対しても役に立つと思う。
- 資料にアクセスする過程が難しいと思う。自治体や官公庁のホームページを見ると、リンクをどんどん進んだ後に資料へのリンクだけが張ってあることがある。かんたん化学物質ガイドに限らず資料全体に言えるが、何の説明もないので、資料にアクセスする方法の説明があるといい。
- かんたん化学物質ガイドのレイアウトについて、挿絵が分散しているので、どの絵がどの文章のことを言っているのかわかりにくい。文字のあるところに絵を入れず、視線がまっすぐ移動できるようにしてほしい。

○どうしたらかんたん化学物質ガイドを知り、見てもらえるでしょうか。

- 自分で調べるのは一定の年齢を超えた人である。さらに、興味関心がないと絶対に調べない。小中高生は親から情報を得ることが多いので、親世代に訴えかけると良い。中学生の時にクイズの YouTube をよく観ていたが、どこかの省庁の番組があり、面白そうだなと思った。中学生になると頭が良くならなきゃとか勉強しなきゃとかプレッシャーが出るので、頭脳系 YouTuber の番組で観られると良い。
- 頭脳系 YouTuber は PR を PR としない傾向があるが、いっそのこと PR だと全面的に出したほうが良い。ある企業は PR のためにクイズを出している。
- ニュース番組で環境に関するコーナーを放送しているが、番組内で環境省の化学物質を伝えるための活動を紹介すると良い。あとは、授業で取り上げるときに、環境省の活動内容を先生が知っていれば良い。
- テレビ CM で「環境省は化学物質をわかりやすく伝えるための活動をしているので、みんなも興味を持って調べてみましょう」と広報活動すると良い。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

○化学物質について、どうしたら子どもにも大人にもわかりやすく伝えることができますか。

- 大人もかんたん化学物質ガイドを見たら良い。ふつう、大人向けの冊子は文字が多く、堅い日本語を使っていて難しいイメージがあるが、大人は時間がないので、絵が多くてわかりやすい子ども向け小冊子を同じように読んでもらう方が良い。YouTube のショート動画のように、身近な動画の中でも解説してほしい。例えばフライパンにフォーカスし、「フライパンの表面はテフロンです」と紹介するようなイメージ。日本人は時間がないため、小冊子を読む時間もなく、忙しい人もパッと気軽に観られる情報を動画で流せると良い。
- 同じ意見である。映画館で上映前に流れる「No More 映画泥棒」のような短編動画で化学物質に関わることを紹介すれば良い。
- YouTube のような動画でのコラボレーションはある。
- フライパンを作る企業とコラボレーションすれば、フライパンも化学物質も PR できる。
- この冊子は子ども単体向けか、保護者も入るか。
- 日常生活を送るにもかんたん化学物質ガイドに載っているような知識を持っていた方がいい。保護者が知っていたら、子どもに教えられるし、子どもは大人をまねるので、子どもも保護者も日常生活を改善できる。
- 服を買うのも家を建てるのも大人だから、大人が化学物質について知っていたら子どもに教えられる。子どもにもものを買って与える親が先に化学物質について知っていたら良い。

3. 意見交換での気づきなど

○当日の意見交換において、他の参加者の考えで勉強になったことや、新しい観点での気づきがあれば、教えてください。

- 私は化学物質が自分にとって悪いものであると思っているから毛嫌いしていたが、資料を見たらアトピーの増加傾向には化学物質が関係していると書いてあり「そうか」と納得した。化学物質のように、無いものが生まれる過程は大好きである。
- 化学物質はどうしても存在するので、プラスでもマイナスでもない中立的なものかと思う。今はマイナスのイメージがはみ出しているので、化学物質のことは化学物質で直すしかないと思う。
- 自分は化学物質について影響が大きくなければ使って良いと思う。化学物質は色々なところに使われていて、環境に問題が出ているとは思いますが、絶対に使う。
- 化学物質は身近なものと認識していたので正直あまり気にしていなかった。結局技術は進歩するが、使わなければしょうがないので、どちらかというと共存するしかない。
- 化学物質の周知には、インフルエンサーと協力したほうが良いのではないかと思う。あと、紙ストローにも有害な物質が含まれているので、紙ストローを勧めないことが大切である。

以上

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

2 班（高校生年代 4 名）

1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

○思いつく化学物質は何ですか。

- ベンゼン。化学式は C_6H_6 で、燃えるらしい。液体。
- ベンゼンは高校の科学の授業で習った。
- 洗剤とか。掃除に使う洗剤に「混ぜるな危険」など書いてある。
- 二酸化炭素。
- ミドリムシ。
- ペットボトル。プラスチック。
- ゴム。

○身体に良いと思う化学物質は何ですか。

- 酸素。
- ビタミン。
- 糖。
- カルシウム。
- アルコール。アルコールの飲料用と消毒用の違いは、濃度だと思う。
- ハンドクリームとか。
- ワックス。
- 薬。
- ベンゼン。アセチレン。

○次の各化学物質について、自然にあるものだと思うか、人工的なものだと思いますか。

【洗剤】

- 植物をすりつぶしたところから始まったのではないかと思う。授業で習ったわけではない。
- 体を洗う洗剤は自然にあるものから作られている気がする。掃除用の洗剤は人工的に作っているのではないだろうか。

【ミドリムシ】

- ミドリムシは、光合成する。
- 食品もあるらしい。
- ミドリムシは体にいいものだった気がする。

【二酸化炭素】

- 二酸化炭素は、炭酸飲料にも含まれている。飲んでも問題はないと思う。

【ペットボトル】

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

- ペットボトルは、テレフタル酸とエチレンからできている。
- 石油からできていると思う。自然に分解されないものだと思う。

【ゴム】

- ゴムは、人工のものと天然のものがある。天然の木を切ったときにできるものだと思う。

【酸素】

- 酸素は、液体窒素のようにものすごく低温にしたら液体になる可能性もある。

【ビタミン】

- ビタミンは、フルーツだとオレンジなど、色々な食べ物に入っている。
- レモンにも入っている。
- フルーツに多く入っているイメージがある。野菜にも入っていると思う。
- キャベツ。
- ほうれん草。
- ビタミンはとりすぎるのは良くないと思う。

【タンパク質】

- タンパク質は、お肉に入っている。
- 大豆にも入っている。

【糖】

- 糖は、ぶどう糖のイメージがある。
- 糖が変わるには、酵素が必要だと思う。
- マルトースやスクロースといった種類がある。

【カルシウム】

- カルシウムは小魚に含まれている。
- 骨が強くなるイメージがある。

【アルコール】

- アルコールは、糖を発酵させるとできる。
- 糖を発酵させることで、ぶどうジュースからワインになる。
- お酒は消毒効果がない。消毒液については、アルコールが 60%くらい含まれているが、通常飲まれているアルコールは濃度が低い。

【ハンドクリーム】

- いろいろ混ざっているイメージ。たまに香料も入っていたりする。
- ワセリンなどがある。
- ワセリンは自然にはないものだと思う。

【ワックス】

- ワックスはワックスだと思う。
- 人工物だと思う。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

【薬】

- 大半はいいものだと思う。
- 量をちゃんと守る必要がある。
- 副作用がある。血圧が上がったり、立ちくらみがしたりする薬もある。

2. 現在、環境省が行っている取組について

〇かんたん化学物質ガイドについて、良い点、こうした方がよいと思う点がありますか。

【形式について】

- マンガだったらすぐ読むと思う。また、中学校には朝読書の時間があるので、読むものがないときに学校に置いてあったら読むと思う。
- アプリケーションにして、クイズ形式にしたら良いと思う。授業で、クイズ形式を取り入れたところ、取り組む人が増えて達成率が向上したらいい。
- クイズ形式なら4択クイズにしたらいい。簡単すぎるともったいない。「自分だとちょっと分からないな」と思うくらいのクイズにして、説明を読んでから答えるようにしたら良い。
- クイズに答えて正解だと景品があったら良い。
- クイズを全て達成したらクイズマスターになれるとして、バッジなどがもらえたら良い。
- ポイント制で競い合うと良いと思う。
- ポイント制で景品を出すなら、本音ではお金が欲しい。ただ、化学物質に関する景品だったら、環境にやさしい石鹸などが良いのではないかな。
- 化学物質の表が書いてある下敷きが良いと思う。
- 周期表が書いてある下敷きが良いと思う。
- 周期表が書いてある下敷きは、テスト直前にみんなが見そう。
- シャープペンシルが良いと思う。「環境マスター」などと文字が入っているシャーペンが良いのではないかな。

【周知について】

- 住んでいる地域の学生団体に入っているのだが、去年「地域の良いところを知ってもらおう！」という謎解きを企画した。みんなで協力して何かを解決する、ゲーム感覚でできる企画だと、楽しくて記憶に残ると思う。
- 見てほしい年代によって、周知の媒体は変わると思う。たとえば、お年寄り向けなら新聞で、若い人向けならInstagramとかXが適している。
- SNSだったらリール機能を使うのが良いと思う。
- YouTubeが良い。
- 年代に関係のない媒体として、公共交通機関がある。自分は通学で路面電車を使っている。毎日音声での広告が流れていて、覚えてしまうくらい聞いている。広告では、リズムに合わせて音声が流れている。
- 「酸素ちゃん」といったキャラクターを作るのはどうか。酸素ちゃんはさくらんぼみたいなイメージがある。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

- 酸素ちゃんは怒り出したら燃えるようなイメージがある。
- 学校の授業でおすすめの本として、ウイルスをキャラクターにした本が紹介されていた。その本では、コロナウイルス含めて、様々なウイルスをキャラクターにしていた。
- 「化学物質」としてドーンとくるよりも、キャラクターにした方が接しやすい。
- キャラクターには特性を持たせると良いと思う。
- 漫画などが良さそう。または、小中学生向けにはアバターを作ったら使ってもらえるのではないかな。
- 文章よりも1分くらいの動画の方が、とっつきやすいと思う。
- 動画は1時間くらいでも良い。
- キャラクターが歌を歌っていて、その歌を覚えていたら化学に関するテストで答えがわかると良い。
- 頭文字を取った歌を作ったら良いと思う。
- これまで挙げた意見は、動画など2次元的なものが多いが、とっつきやすいという意味で、大きなぬいぐるみが置いてあったら化学物質を3次元的に認知できそう。図書館など公共機関にあったら良さそう。
- キャラクターに対して、「なにこれ？」と思うと良いかもしれない。
- 例えば、大阪・関西万博の公式キャラクターのミャクミャクに対して「なんで選ばれたんだろう？」と思うように、「なんで」から始まるととっつきやすさがあるかもしれない。
- 大きく二次元コードが貼られているというのも良いと思う。「何が出てくるんだろう？」と思って気になる。二次元コードは、人がいるところやトイレの個室のドアの内側などに貼るのが良い。
- 二次元コードを貼る場所について、新幹線の前の座席に貼ってあったら、テーブルを開く前に必ず見ると思う。

【内容について】

- 表紙を見れば中身はおおよそ分かる。せつかく5冊あるので、表紙をつなげると絵になったら面白い。
- 「かんたん化学物質ガイド 乗り物と化学物質」11ページには、ベンゼンは「ヒトに対して発がん性がある！」と書いてある。言い換えるなら、「身体に悪い」といった表現になると思う。
- これくらいの内容であれば、小中学生でも分かると思う。
- 小中学生が読むときは、ぱらぱらと絵しか見ない。小学生向けには文字を吹出しで表現したら良い。
- 小学生には、文字で説明してイラストをつけるのではなく、なるべくイラストで図示して、文字量を減らした方が良い。
- 内容がこれでいいかは、どれくらいの情報量を載せたいかによる。化学物質についてしっかり知ってほしいのであればこれくらいの情報量で良い。一方で、「化学物質ってなに？」というそもそものところから知ってほしいのであればもっと情報量は減らして、自分で調べるように促すのが良いと思う。
- 読み手にどこまで伝えたいのか。たとえば、物質の名前だけ知ってほしいのか、悪影響まで知ってほしいのか、疑問に思った。
- 「かんたん化学物質ガイド 殺虫剤と化学物質」2ページには、「殺虫剤ってどんなもの？」のように“つかみ”がある。まずマンガがあってその後の説明に入る流れは良いと思った。
- 興味がある人にとっては面白いと思うが、興味がない人はマンガの最初の部分を読んで終わってしまう。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

- 目に留まるのは、クイズだと思う。クイズは簡単なものが良いと思う。
- 例えば表紙にクイズがあったら、興味を持って手に取ってくれると思う。
- 人生ゲームのようなすごろくがあったらいい。競争できて、最終的には勝ち負けがついた方が、小学生は盛り上がる。ただ、授業中に扱わなければ使わないと思う。
- こういった冊子は学校では紹介されない。
- 先生から「テストに出る」と言われたら確認すると思う。

○化学物質アドバイザー制度・化学物質と環境に関する政策対話について、良い点、こうした方がよいと思う点がありますか。

- 「化学物質アドバイザー制度」はまず知ってもらうための周知が必要だと思う。
- 学校の講演会でいろいろな人が来るが、講演会の内容を自分事にできなかったら単に「また講演会でめんどくさいな」と思って終わってしまう。過去に参加した講演会のうち、自分たちで話し合う機会がある講演会は、自分たちで話し合った内容を元に話を聞いて良かった。ただ話を聞くだけで眠くなってくる。ほかに、劇や動画などを使う講演会も良かった。ネットリテラシーの講演会で、性犯罪に対する動画を観た。自分たちが同じ状況に陥るかもしれないということを思えて実感できた。
- 研修会は硬い感じがする。芸能人とアドバイザーが一緒に来て、会場を盛り上げながら進行してくれたら良い。

3. 意見交換での気づきなど

○意見交換において、他の参加者の考えで勉強になったことや、新しい観点での気づきがありますか。

- 「化学物質」とドーンとせず、とっつきやすいものにしていき、興味を持つ人を増やしていくことが大事な第一歩だと思った。「化学」は勉強の印象がある。自分の周りにもたくさんあるんだということを伝えて興味を持ってもらうことが必要だと思う。
- 自分が知っていた化学物質も挙がっていたが、ワックスなど思ってもみなかった意見や、通学の電車の中の音声広告などの意見も聞いてよかった。
- 自分が知らないことがたくさんあって、もう少し勉強しようかなと思った。
- 自分だけだったら考えつかないようなアイデアを聞くことができて良かった。
- 「化学物質ってなんだろう？」と思って参加したので、「ここまで話せるんだな」という驚きがあった。自分が知らないこともたくさんあったので面白かった。

以上

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

3 班（大学・大学院生年代 5 名）

1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

○思い浮かべた化学物質に関して、良い印象・悪い印象などを教えてください。また、なぜそのように思ったのか、理由を教えてください。

- ・ ザ・サイエンスといった感じで、科学者がロボットなど機械を使って作っているイメージ。
- ・ 化学物質は色々な事件があったイメージ。ヒ素やカドミウムによる公害が思い浮かぶ。いい印象がない。
- ・ まず化学物質という言葉が示すものが幅広い。服なども化学物質からできている。化学物質とは何かがとらえにくい。
- ・ 水も化学物質というのはびっくりした。
- ・ 使いによっては人間の生活が豊かになる部分もある。例えば化学物質は医療に使われて人の生活を豊かにしている。
- ・ うまみ成分も化学物質。ご飯をおいしく食べられるのも化学物質のおかげ。
- ・ うまみ成分として化学物質を食べていると思うと印象が変わる。
- ・ 台所洗剤なども化学物質なので、色々な種類があると思う。そのため化学物質に対してネガティブ寄りの感想はない。洗剤であれば「きれいになる」というメリットを感じている。
- ・ うまみ調味料が体に悪いという情報を SNS で見た。「化学物質が多い食べ物は摂取を控えましょう」と言われているのを聞いて「どうなんだろう」と思った。料理研究家の動画でうまみ調味料が使われていて、うまみ調味料の使用に反対するコメントがたくさんついていた。自分も多少気にして、なるべくご飯は手作りするようにしている。ただ、うまみ調味料を食べたからどういふ影響があるかまではわからない。
- ・ 化学物質を食べた人と食べてない人では平均寿命にそんなに差がないと思う。食べても害がないのかなあとは思ふ。ただし、心配する考えの人もいるので難しいことだと思う。
- ・ 正解がないというのが難しいところ。
- ・ 化学物質を摂取することで脂肪が蓄積されるといったことがあるなら食べたくはない。
- ・ 明らかに使ってはいけないと思われる物質が食品に添加されているのであれば気になる。例えば消毒用に使われるヨウ素が食品に使われていることもある。ヨウ素がダメなわけではないが、消毒用に使われるものがなぜ食品に使われるのだろうとは思ふ。食品には添加物を使用する目的を示してほしい。
- ・ かゆくなるので、化学物質の中では塗料を避けている。塗料は日焼け止めスプレーや除菌スプレーにも含まれている。
- ・ 大掃除のときに壁紙を白くしようとして塩素をまいたことがあり、体調が悪くなった経験がある。効果が強いものは弊害も大きいのでちょっとなあと思う。塩素には漂白作用がある。衣服用の漂白剤もあるが、洗ったあとで用途どおりにすすいだりしているので漂白剤の使用で体調が悪くなることはない。商品を見るときは「まぜるな危険」などの注意書きを絶対読む。
- ・ 注意書きはあまり読まない。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

- 実家に住んでいるので、商品の注意書きはたぶん親が見ていて縁がない。
- 大きく書いてあったり、赤字で書いてあったりする注意は見る。
- このテーマ自体にうとく、難しいなと思っている。カエルの毒も化学物質と聞いて本当なのかなと思った。化学物質に対しては悪いイメージがある。公害だけでなく、最近ではサプリメントのニュースもあった。本当は害がなくても害を及ぼす可能性があったということの思うと、難しい。自分には縁がないなと思う。
- 地元は昔、公害があった地域である。教科書で習うこと以外にも公害がなぜ起きたか、起きないためにはどうすればよかったかも学んだ。そのため、自分にとって化学物質は身近にあったという感じがする。
- 使い方によっては悪影響もあるが、良い効果もある。化学物質の良い使い方を知らないので、知りたい。
- 化学物質について家庭ではあまり意識したことはないが、大学で使い方を学んでいる。化学物質がなかったら回らない分野で学んでいる。
- 大学の専攻が土木や環境系。例えば、下水処理に化学物質を使う。化学物質には良い面と悪い面があるが、良い面の方が大きいと思っている。
- 地方創生について学んでいる。自分の住んでいる地域である小さな市町村が大きな市と合併していない理由の1つが、大きな化学メーカーの立地により税収入で色々なものがまかなえるからだという。化学物質がお金を動かして影響は大きいと感じた。
- 住んでいる地域は森林の面積が日本有数で、川や岬などを舞台にしたアクティビティもとても有名である。人為的に作られた化学物質がないので、化学物質がない状態をブランド化している印象がある。化学物質がないことでのメリットもあると思う。
- 化学物質の発達のおかげで、ものが安く作れるようになったと思う。
- 紙がそのいい例。
- 食品に入れる添加物によって賞味期限が伸びるというメリットもある。
- 春から学校教員になるが、化学物質は理科室にあるイメージ。四日市ぜんそくのような公害というテーマだと、社会と理科を別々でなく、学校で一緒に考えられると感じた。
- 化学物質のメリットはいくらでも出てくる。土木なら汚れを沈殿させる効果で下水処理を早くすることができる。また、絶縁体があるおかげで電化製品もうまく使える。
- 化学物質は量を誤るとデメリットを生むこともある。公害がその例。濃度が高いものを自然環境に放出すると本来は問題ないものでも悪影響を及ぼすことがある。
- 化学物質が頻繁に作られるようになると、自然破壊につながるイメージがある。
- 化学物質を入れると処理が大変になるデメリットもある。処理をするにも化学物質が必要になる。
- 小学校の実験では化学物質に関する専門的なことはしない。昔は授業でアルコールランプを使っていたが今はガスコンロを使うなど、理科の授業で使う道具は昔に比べると便利になっている。中学校では電気分解を行うなど、小学校より中学校の方が少し進んだ実験がある。中学校からは専科になるので少し専門的なことも教えられる。
- ガスコンロを使えるなど便利になった分、見方を変えると簡単に危ないことをできるともいえる。

2024/12/14 開催 いけんひろば

あなたにとって化学物質はどんなもの？

～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

- 医学を学んでいるので化学物質の人体への影響を考える。化学物質のメリットは検査や治療に使えることで、今は化学物質がないと成り立たない。一方、ぜんそくなど人体への有害な影響も指摘されているので使い方のバランスが大事だと思う。
- レントゲンは有益だが、放射線を浴びすぎると良くないということだと思う。
- その通りで、機器や薬にも制限がある。来年から働くが、そうしたことに注意して働かないといけない。
- レントゲンのときに防護衣をつけるが、本当に効果はあるのか。
- 防護衣に効果はある。

○少し難しいかもしれませんが、思い浮かべた化学物質がどのような良い影響・悪い影響を環境中にもたらすと思いますか。思ったことを教えてください。

- 化学物質は使いすぎると自然に影響がある。
- 化学物質があった方が植物の育成が早くなるので、食料の生産にもメリットがある。
- 化学物質が地球温暖化に悪影響を与えている一方で、車の話でいうと、ガス排出を減らすために電気が役立っている。自然を守るために化学物質を使っているという見方もできる。
- 化学物質という言い方が気になる。化学と物質という言葉は良いイメージがないので、名前を変えて親しみやすいようにした方が良いのではないかな。英語にしてみるとか、もっとポップな感じにするとか。
- 自動車がすべて電気自動車に代わったらどんな変化が起きるのかは気になる。それで悪い影響も生まれるのだろうか。
- 化学物質が苦手と思われやすい理由として、悪い面が挙げられがちということがありそう。良い面があまり挙げられない。恩恵に預かりながらその恩恵に気が付かず、あとから良い面を知るとことも多いと思う。もっと良い面を推していくと化学物質に対するイメージが変わると思う。化学物質へのネガティブなイメージはニュースで形成されることが多い。例えば水道でフッ素化合物が見つかったというようなニュースなど。
- 公害について学校で学ぶから、ニュース以外に授業でもネガティブなイメージを持つかもしれない。
- 化学物質というより「化学」という言葉だけで苦手意識を持つ人は多い。進学でも化学を選択しない人がいるので、そこで苦手意識が生まれるのではないかな。
- 化学物質を身近に思ってもらうにはどうするというのが難しい。自分は一人暮らしをして化学物質の良い面を感じている。まずは使ってもらって良い面を知ってもらうことが大事なのではないかな。
- 化学物質という言葉が表すものが広すぎる。
- 化学物質には自然界で発生するものと、人が生み出すものがある。
- 化学物質は「人がつくっている」というイメージが強い。自然界にある化学物質があるということも知ったら印象が変わると思う。
- 世間の流れとしてオーガニックやビーガンという自然推しの流れがあるので、化学物質の悪い面が目立っている気がする。化学物質の対義語でイメージされるのは「無添加」。
- 「純度 100%」も化学物質の対義語とイメージされる。

2024/12/14 開催 いけんひろば

あなたにとって化学物質はどんなもの？

～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

- 化学物質はとても身近にあるので、化学物質の反対を考えようとする周囲に何もなくなり「無」になる。食べ物、たんぱく質を含めてあらゆるものが化学物質にあたる。人によって化学物質のとらえ方に差がある。
- 塩素も悪い影響もあるが、使い方によっては清掃に役立つ。物は言いよう。
- 自分の中では化学物質は「包丁」のようなものだと思う。自分の手を切ったりすることもあるが、うまく使えば役立つ。使い方が大切である。だから環境省も化学物質の使い方として上限を決めたりしているが、その制限をしていることが目立ってしまっている。
- 化学物質の使用量の上限を決めるのは難しそうである。何かしら害がないと上限は定められないので、最初から上限を定めることは難しい。
- 見つかっていない害があるということだろう。
- 化学物質の害が見えるのがすぐではなく、何十年経たないとわからないということも難しいところ。
- 人に害が及ばない限りは使われ続けるのかなと思った。
- 人に使う薬だったら実験するが、洗剤などは影響があるかまで検査しているかわからない。
- 元素に関することなら勉強はすると思う。今までどおり化学物質とは仲良く付き合っていきたい。
- 人体への影響が一番気になるが、環境・森林まで気を配らないといけいない。
- 化学物質に対して意識をもって生活してこなかったもので、どういものが化学物質かを意識しながら生活してもいいかなと思った。
- 化学物質には悪い面もあるが、メリットも大きく受けている。何十年、何百年という単位での影響だったら気にしないかなと思っている。
- 悪い影響があっても自分は割り切れる。「これ食べたら 10 年後死ぬよ」と言われたら食べないが、あとから「9 年前に食べたあれは 10 年後に死ぬものだった」と言われても仕方ないと思えそう。
- 一口食べただけで人生が変わってしまった、台無しになったというインタビューを見たことがあるので、私は仕方ないとは割り切れない。
- 家の近くに大きなダムができる。鳥や山に影響があると聞いた。鳥に影響を与える周波数や騒音など、環境省が出している規制の指標と、国土交通省の建設工事に関する規制の指標とが違っている。同じ国の機関なのに指標が違うと見方が違ってくる。今まで以上にダムができることに気を遣わないといけいないと思った。指標は国が出しているものだが、どちらを信頼しているのかと思った。工事は 20 年以上かかる。
- アンテナを張って、知ろうとすることが大事。
- 化学物質について、何かキーワードが抜けるだけでとらえ方が全然違ってくる。いかに正確な情報が伝わるかが化学物質への理解度を上げるために重要。
- 情報を伝えることも、情報を知ろうとすることも大事である。

2. 現在、環境省が行っている取組について

○環境省が実施している化学物質をわかりやすく伝えるための活動（化学物質アドバイザー制度、かんたん化学物質ガイドなどの発行、化学物質と環境に関する政策対話）について、良い点、こうした方がよいと

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

思う点、などを教えてください。

【かんたん化学物質ガイドについて】

- 学校の先生はかんたん化学物質ガイドがあることを知らないと思う。先生が知らないとこどもにも届かない。先生もかんたん化学物質ガイドがあることを知るようにできる良い。自分も知っていたら使いたい。
- 使わないともったいない。高校でも探究活動という科目があるので、そうした機会でも使えそう。
- 紙の削減という背景でかんたん化学物質ガイドを配っていないとのことだが、小中学校ではタブレットを使っているのでガイドをタブレットで見てもらえれば良い。
- 理科の教科書に二次元バーコードを載せて読み込んでもらったら良い。
- こういうガイドを受け取ったらうれしい。身の回りのことについてわかりやすく書いてあるので知りたい。
- 今は大学生なのでかんたん化学物質ガイドをもらったらうれしいが、小学校でもらったら見ないで捨てそう。小中学生だと、社会全体のことよりは自分の身の回りのことだと思うので、難しい内容かなと思う。
- 無駄にはなるかもしれないが、小中学生に何回も配るという選択肢もあると思った。
- 5冊あるので、一年に1冊くらいのペースでも配布してもいいかもしれない。
- かんたん化学物質ガイドに載っている情報を1枚にまとめてあったらいい。
- アドベントカレンダーのように1日1つ、化学物質に関する質問や知識について学べると面白そう。
- かんたん化学物質ガイドを高校生に配るとすると、言葉が柔らかすぎる。言葉の感じだと小学校低学年向け。小学校高学年は学校では最上級学年なのでなめてほしくないということがあると思うので、敬語でいい。
- 学年ごとに分けてもいいと思う。小学校低学年は化学式をわからない。小学校低学年はポスター、小学校高学年は敬語で冊子にするなど、色々な方向を考えてもいいと思う。
- どこを伝えたいかに着目した方がいい。詳しいことを知ってほしいなら高校生に配ってもいいと思うし、詳しくなくても危険性などを注意喚起として知ってほしいなら小中学生に配ってもいい。
- 小学生に興味を持てたら「危険な化学物質」といった見せ方をしてみるのもいい。
- ニュースはデメリットを伝えていると思うのでメリットを伝えてもいいかもしれない。ただ国だから良い部分を伝えていると思われるかもしれない。
- 良くも悪くも本当のことは伝えてほしい。
- 危険も含めて正しいことを伝えられるといい。まずは危険性について小学校で伝えておいて、だんだん「危険があるからどうすると良いか」など詳しいことも伝えていくと良さそう。
- かんたん化学物質ガイドは小学生には難しく、中学生程度の内容と感じた。テストに出ることでないでがんばって覚えようとする。自分から化学物質に興味を持てたらいいのが難しい。
- 化学物質は深く学ぶと面白いということが伝えられると良い。
- 化学物質に関するゲームがあっても良いと思った。「これは化学物質でしょうか？」という問題なら多くのものが当てはまることがわかってもらえる。「自然につくられたものでしょうか？ それとも人が作ったものでしょうか？」などといったクイズがあると授業以外でも興味を持てたらいいと思う。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

【化学物質アドバイザーについて】

- 化学物質アドバイザー制度は聞いたことがない。
- 自分の住んでいる地域には化学物質アドバイザーがいなかった。
- 化学物質アドバイザーが来てくれて「大丈夫」と言われたとしても、化学物質アドバイザー制度自体を知らないで、説明されても信用にもつながらないかもしれない。
- 化学物質のうんちくを知りたいときに呼びたいが、そうした活用法だと生成 AI で代替できるかもしれない。化学物質アドバイザーの存在意義が昔と変わってきているかもしれない。気になることとして、工場の設置や運用について化学物質アドバイザーが「大丈夫です」と言って、計画などを住民が認めたとして、そのあとに何か事故が起きたときにお墨付きを与えた化学物質アドバイザーにも責任が発生するのではないか。
(環境省から「影響は与えないという説明はアドバイザーはしない」旨の補足説明あり) 環境省の説明を聞いて、大丈夫というお墨付きを与えるわけではなく事実の説明をするということは理解した。
- 下水の処理に関するニュースなどは直接説明があった方が良いので、変なニュースに流されないためには化学物質アドバイザーがいて説明してもらえるのは良さそうである。
- 学校現場ではコミュニティスクールにしていくことが言われているので、地域に化学物質アドバイザーを招いて、小学校 5 ～ 6 年生と実験をしているときにかみ砕いた説明をしてもらい学べるのは良さそう。昔はそういう人がいなかった。ただ、学校の先生にそうした取組をする余裕があるかという点と思う。
- 化学物質アドバイザーがいるかは地域によって違う。住んでいる地域にはいないので、ばらつきがありそう。

【化学物質と環境に関する政策対話について】

- 政策対話のテーマ設定は国民から募集することはできるのか。有識者でない方からの疑問も交えて政策対話を行うこともできるのか。
- 委員の中に若者を入れるのは難しいか。入れてもらえるといい。
- ホームページに掲載されている政策対話の議事録は長いと読まれないので、簡潔にしてくれた方が良い。
- 今は開催日時がタイトルとなって公開されているが、開催日程だけでなく話されたテーマもホームページに掲載してもらえれば見ようと思える。
- 結論だけ簡潔に示してくれたら議論が入ってきやすくなる。
- 本テーマはアンケートによるいけんひろばも行われているが、その質問の中で「政策対話で何を伝えたいか」という設問があったが何を答えたらいいかわからなかった。質問の内容も考えてほしいと思った。アンケートを実施したことでこども・若者の意見を聞いたことにはなるのだろうが、意見を言えていない人も一定数いることも知ってほしい。
- 政策対話に参加する人にも利害関係があるので、話す人の希望や意向が強く表明されると思う。こども・若者には「何も知らないからこそ出る発想」があるので、自由な議論のためにこども・若者をうまく使ってほしいと思う。参加にあたり、有識者とこども・若者には知識の差があることが気になるかもしれないが、一般の化学に慣れていない大人が参加するとしても有識者との知識の差が出てしまうことは同じことだと思う。

以上

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

4 班（社会人年代 4 名）

1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

○思い浮かべた化学物質に関して、良い印象・悪い印象などを教えてください。また、なぜそのように思ったのか、理由を教えてください。

○少し難しいかもしれませんが、思い浮かべた化学物質がどのような良い影響・悪い影響を環境中にもたらすと思いますか。思ったことを教えてください。

- プラスチック製品は便利だが、製造や処理の過程で二酸化炭素を排出している。マイクロプラスチックも環境に悪い。
- ワセリンなど、保湿に使うものは便利だと思う。ただ、自然由来の保湿成分は色々あるので、体と環境に良いものを選んで使いたいと感じる。ワセリンは石油由来であり、石油には産出量に限りがある中で、人工的な化学物質を作り続けられるのだろうかという点も懸念であるが、今は使い慣れたもの、身近にあるものを使い続けている。
- 勤務先が製造業であり、製品を販売する際、「エコマーク」などで環境に良いことをアピールしている。
- 化学物質にマイナスなイメージがない。製造元は国が定めた基準値に則って製造管理をしているはずなので信頼している。ただ、PFAS は調査中で、値がかなり高い地域がでてきたと聞いて不安に思う。PFAS は水道水や井戸水の中に入っていたり、フライパンのフッ素加工に使われていたりすると聞いている。
- 化学物質は色々な形に変えられる。ペットボトルを服にリサイクルすることもできる。宇宙でエネルギーを補給する際にも使えると聞いた。ただ、人や動物の体に有害な物質もあるため、使い方には慎重にならなければならないと思う。

○日常の中で化学物質を意識しますか。

- 日常生活ではあまり気にしていないが、自然由来であることを押し出している商品があると、買おうかなと思う。四日市が地元だったので、授業の中で四日市ぜんそくの話などを学んだ。ただ、小学生の頃に学んだため、化学物質に対して意識が大きく変わったわけではない。
- 小学校の社会の教科書で四大公害病について習ったのを思い出した。
- ボールペンが書きやすくなったことで、ボールペンインクの化学物質の進歩を感じた。
- 豆乳を温めて固めて食べることに一時期はまっていた。
- スニーカーの靴底が身体を保護してくれていると感じたときに、靴底も化学物質であると意識した。
- 髪を染めるときに、頭皮に痛みを感じることがあり、化学物質だと思う。
- 風邪薬でうまく体をコントロールしながら日々の活動をしていると思う。
- 化学物質が気候変動にも影響を及ぼしているように思う。ゴミの分別には気を配っている。燃やすと有害な物質を発生させるものもある。

2024/12/14 開催 いけんひろば

あなたにとって化学物質はどんなもの？

～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

- 昔の工場で使われていた PCB という化学物質が食中毒を引き起こす事件があった。結構な人数が亡くなっていた。地元のニュースでたまに報道されている。有害な化学物質を処理する費用は企業負担なので、費用を免れるために不法投棄するケースもあるようだ。
- ISO14000 を取っているかどうかで、企業が化学物質の製造管理を安全に行っているかどうかを判断している。

2. 現在、環境省が行っている取組について

○環境省が実施している化学物質をわかりやすく伝えるための活動（化学物質アドバイザー制度、かんたん化学物質ガイドなどの発行、化学物質と環境に関する政策対話）について、良い点、こうした方がよいと思う点、などを教えてください。

- 気温と同じくらい簡単に、身の回りの化学物質のアラートがあれば良いと思う。
- 光化学スモッグのアラートは現在もあると思った。海沿いに遊びに行ったとき、掲示板に光化学スモッグアラートが表示されていた。工業地帯、湾岸地帯では表示されているのかもしれない。
- 動物実験をしていないメーカーの化粧品を紹介する SNS アカウントがある。危険な化学物質を使っている化粧品は販売されていないと思うが、安全な化学物質についても、どんな成分が使われているかについて発信する取組があっても良いかもしれない。原材料を見るだけだとよく分からず、分からないために「どうでも良い」と思っている節があるので、どんな成分が使われているか分かったら考え方も変わるかもしれない。
- 食事の塩分量やタンパク質を気にするのと同じように、一定の知識があれば化学物質について気を付けられるようになる。

【かんたん化学物質ガイドについて】

- スマホで PDF ファイルを見たときには文字が多くて重いと思った。知識がたくさん載っていて、とても学びになる。授業の中で資料として使うためにはとても良いものだと思う。ただ、一人で読み切るためには個人のもともとの興味の高さが求められるかもしれない。
- 導入部分にマンガなどで知らなければいけないことをまとめてくれていたら、読み始めるきっかけになりそう。中にクイズがあっても良い。
- 全 5 冊を渡されると、どれかは読まなくなるといった。1 冊にまとめてくれていたら全部読める気がする。
- こどもや若者に人気のキャラクターとコラボレーションすると良いかもしれない。
- 以前、科学館の展示でキャラクターとコラボレーションした科学的なクイズや謎解きがあった。
- 高校生以上の若者に対しては、かんたん化学物質ガイドは電子媒体の方が読む可能性が高いように思う。スマートフォンで縦にスクロールできる形式の方が見やすい。
- どこで冊子を渡されるかによって、読むかどうかが変わると思う。例えば、東京モーターショーのイベントでの配布資料に「乗り物と化学物質」を入れるなどすると良い。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

【化学物質アドバイザー制度について】

- 個人が活用するのは難しそうだが、企業による環境対策を示す際に役立ちそうである。
- 良い制度だと思った。ただ、アドバイザーの人数が思ったよりも少なかった。各都道府県に1人は配置するなど、もう少し増やしても良いのかなと思う。
- 化学物質アドバイザーになりたい人に向けて、どのような手続きを踏むのか、アドバイザーになるとどんなメリットがあるのかも伝えることで、人数を増やせるのではないかな。
- 予想していたより利用料金が安かった。

【化学物質と環境に関する政策対話について】

- 環境省の方からの説明を聞いて、化学物質と環境に関する政策対話でどのような話をしているのかを議事次第を見て調べてみたいと思った。
- 誰でも参加できるのか調べてみたい。一般人の意見も吸い上げられる場があると良いと思う。
- 化学物質と環境に関する政策対話について調べたところ、2012年から継続的に開催されていることを知った。専門家たちが話していて、難しい内容である。
- とても難しく今何が議論されているかが分からなかった。議事録をさかのぼると分かるのかもしれないが、直近の議事録だけでは理解できなかった。
- 専門家ではない民間人と専門家が議論をする場があるのなら、自分は参加してみたい。政策決定に関与することはないと思っていたけれど、意外と自分たち民間人の意見を吸い上げる場があるのだと知った。
- 自分は議論の場に参加できるかどうかかわからないが、議論の結果を国民に周知できる場があれば良いと思う。今回のいけんひろばで、化学物質アドバイザー制度や政策対話制度などを初めて知ったので、もっと周知していくべきだと思う。

3. 意見交換での気づきなど

○当日の意見交換において、他の参加者の考えで勉強になったことや、新しい観点での気づきがあれば、教えてください。

- 参加できて面白かった。いくつか具体例を聞くと、自分の意見を出すことができた。改めて、化学物質は身近なものだなと思う機会になった。最初に、他の参加者が「化学物質について報道されたことが記憶に残っている。」と言ったことが印象的であった。意見交換によって、化学物質が原因でとても悪い事件・事故が起きたときの報道がやはり印象に残るなど、改めて感じた。
- 他の人の意見を聞く場所は全然なかったので、貴重な体験だった。知らなかったこともあるので勉強になった。全ての意見が印象に残った。
- 参加できてよかった。一言で化学物質と言っても、どの分野、テーマについて考えるかによって全く違う話が出てくる。参加者の知識や経験を踏まえて意見交換できたので、化学物質をより身近に感じるようになった。

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～

いけんのまとめ 対面回

た。印象に残ったのは、「かんたん化学物質ガイド」をもっと読んでもらうためのみんなのアイデアである。他の話から入り、「実はこれにも化学物質が関わっている」と紹介すると、興味を引けるように思った。

- 化学物質というテーマで話し合うことはなかったので、色々な人と意見交換できてよかった。事前に PFAS のことが話題になるだろうと予想していた中で、実際の議論では光化学スモッグについても話題になったので、「それも大切だよな」と思い印象的だった。

以上

2024/12/14 開催 いけんひろば
あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～
いけんのまとめ 対面回

いけんひろば後のアンケートに書かれた意見

- 化学物質は管理する者や不適切な扱いによって有害な影響が出ている。

以上